

仙人通信 166 石沢の頭(1094m) ミズヒノ頭(1060m)

大山から宮ヶ瀬に向かう北尾根に石沢の頭とミズヒノ頭があり、札掛や地獄沢橋へと繋がる登山コースがある。この時期、木々の葉が落ち尾根上に立木として、我が家から望める。

ヤビツ峠の駐車場に車を置き、大山→石沢の頭→ミズヒノ頭→県道 70 号にある地獄沢橋の登山口に下山し、県道をヤビツ峠に戻るコースとした。

ヤビツ峠には、大山ハイキング用のバスが2台も駐車しており、大山詣でのグループが歩き始めていた。大山へ向かうこのイタズミ尾根のコースは、良く整備され子供でも OK だ。落葉したコースの南面は、秦野の町を囲んで大山から弘法山まで、震生湖を抱える渋沢丘陵が、又曾我丘陵の先に箱根までも望める。15 分程登ると背中には、岳の台の肩に白く化粧した富士山が梢越ではあるが顔を出す。更に 50 分程で表参道からのコースと合流である。展望台からは丹沢表尾根や長尾尾根そして本間の頭等の丹沢三峰山が青空にクッキリ望める。鳥居を潜り 10 分で奥社のある大山山頂である。今日は残念な事にガスが掛かり始め、遠望が利かず我が家の上にある座間キャンプの赤白の鉄塔が微かに見える程度だ。無念！電波中継所の先の展望台からは、富士山を始め先ほどの丹沢の山に加え、陣馬・生藤山等も望めた。北尾根に進むには、鹿避けのフェンスを、脚立を利用して乗り越え進むことになる。緩やかな下りのブナの林からは梢越しではあるが、相模川まで望め気持ちのよいコースだ。しかし入山者がほとんど無いこのコースには道標も無く、ブナの落葉で埋もれた踏み跡を確認しながら進む。尾根の左手に鹿避けのフェンスそして森林の保全用のモノレールだ。モノレールに沿って 15 分程進むとレールが二手に分かれるポイントに出る。周囲を確認すると左手に赤いテープが付けられた幹を見つけレールを跨いで進む。山下へ進むレールと別れ、露岩のある狭い尾根を下がり登ると 15 分程で西沢の頭である。正規の道標は無く、木に括り付けた板のみである。尾根の左側の崖が崩れ赤い土を剥き出した小さなピークを2つ過ぎ、25 分程で(3ヶ目のピーク)がミズヒノ頭である。こちらには、山頂を示す目印も無い。南側には辿って来た大山や西沢の頭が、北側には辺室山と御殿の森の頭との間にコバルトブルーの宮ヶ瀬湖が梢越しに望める。ヤビツ峠から宮ヶ瀬に向かい張られた高压線及び鉄塔を確認しつつ 15 分程下がると、鉄塔の立つ日当の良い高台である。アセビに蕾芽が付始めている。鉄塔のすぐ上に県道を示す道標で一安心だ。ここからは、檜や杉の林の中だ。電力会社のメンテもあり、プラスチック製の階段が多くなる。周囲には、白い蕾を付けたミツマタの木が沢山見受けられる。小さなピークを過ぎ 20 分程で県道沿いの地獄沢橋の登山口である。県道を右手の藤熊川の瀬音を聞きながら 75 分歩き、やっとヤビツ峠だ。山の地図を常に手に携えての約 5 時間(24000 歩)の山歩きとなりました。(h29.12. 6)

フェンス越しの脚立 西沢の頭

ミスヒの頭から大山 地獄沢橋の登山口

